

発行所 / 熊本県PTA連合会
〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター4F
TEL096-354-5919 FAX096-354-5913
発行責任者 ● 山口法子
単位PTA数 ● 331
発行部数 ● 71,000部
県PTA連ホームページアドレス
https://kumamoto-pta.jp

印刷 株式会社キャップ 制作 ワタナベデザイン

第188号



Aso Lab

第50回熊本県PTA研究大会
阿蘇大会



第51回 熊本県PTA研究大会

あまくさ大会

つなごう 未来への架け橋

～見つけよう！始めよう！変えよう！PTAだから今できること～

「全ては子どもたちの未来のために」
私たちの活動は、子どもたちの健やかな成長を支えるためのもの。本大会では県内の皆さんと共に、子どもたちの教育や福祉について考える貴重な機会です。様々なプログラムを企画しておりますので、積極的にご参加ください。あまくさ大会を楽しんで頂き、有意義な素晴らしい一日となることを願っております。

あまくさ大会 実行委員長
前田知洋

令和7年 11/8(土)

令和6年度表彰者一覧

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

【団体】 玉名市立滑石小学校PTA
菊池市立菊池南中学校PTA

【個人】 田中 万里
岡崎 秋人
千原 めぶき

九州ブロックPTA協議会長賞

【感謝状】 田中 万里
岡崎 秋人
千原 めぶき

【団体】 玉名市立玉名町小学校PTA
和水町立三加和中学校PTA
大津町立大津小学校PTA
小国町立小国中学校PTA
宇城市立青海小学校PTA
第49回熊本県PTA研究大会
あしきたみなまた大会実行委員会

熊本県社会教育功労表彰

【知事表彰】 田中 万里
岡崎 秋人
千原 めぶき

【教育委員会表彰】 米田 直樹

日P表彰受賞者

楽しく子育て！「親の学び」講座のすすめ

「親の学び」講座について、Q&A形式で解説するよ！

「親の学び」講座って、なに？

参加体験型の講座で、保護者同士のコミュニケーションをとって、楽しみながら子育てのポイントを学んだり、つながりを深めたりすることができるものよ。

それで、講座の中身はどんな内容なの？

「子どもへの親の関わり方」や「伝え方の工夫」など、子どもの発達段階に即したプログラムがあって、ニーズに合わせて選ぶことができるのよ。

なるほど～。じゃあ、どんな場面で活用できるの？

「学級懇談会」「PTA研修会」「各種委員会」などで活用してほしいわ。

じゃあ、講座は誰が進行するのかな？

県に登録された「トレーナー」が講座を進行してくれるわ。しかも、トレーナーの派遣は無料なのよ。

講座の実施については「県社会教育課」に相談するといいわ。学校の先生に話してみるのもいいわね。

ありがとう！たくさんの方に受講してほしいね！

お問い合わせ：熊本県教育委員会 社会教育課
電話：096-333-2697

編集後記

今年度も残りわずかとなりました。今年は秋が感じられず、夏からいきなり冬。体が追い付かずに体調を崩されてしまった人もおられたと思います。まだまだ、寒い日が続きますが体調管理にはお互いに気をつけましょうね。県P新聞を発行するにあたって、様々な方のご協力をいただきありがとうございました。新聞発行の1番の目的は、県P連や県内の単位PTAがどのような活動をしているのか、たくさんの方に知ってもらいたいということです。そのために「見やすさ」「読みやすさ」「内容の工夫」など、とことん追求して作り上げました。また、私たち広報委員のチームワークの良さも感じてもらえればと思っています。

広報委員
川畑愛子

「日P 熊本市大会」を共に協力して頑張りましょう！

熊本市PTA協議会との連携協力会議を開催

熊本県PTA連合会と

副会長 田尻清孝

本市大会についての協議を行い、大会規模や今後の協働体制などについて意見交換を行うとともに、令和9年度の県P研究大会人吉大会以降を1年先送りし、お互いに協力して熊本市大会を成功させることを確認しました。

第69回日本PTA九州ブロック研究大会

祝！長崎大会

UP! PTA!

これからの未来を描くPTA

第70回

日本PTA九州ブロック研究大会

福岡市大会

大会1日目 分科会 大会2日目 全体会

令和7年 10.18(土) 10.19(日)

福岡市内4会場 マリンメッセ福岡A館

参加者 / 九州ブロックPTA関係者(約6,000人) 参加費 / 5,000円/人

主催 / 九州ブロックPTA協議会 主管 / 福岡市PTA協議会



餅つき楽しい!!



心を込めて竹磨き



どのお花にしようかな?

12月14日(出)、15日(回)に餅つきと門松としめ縄で「武北っ子フェスタ」を開催しました。「武北っ子」を真ん中に開催する学校・家庭が連携して開催することのフェスタは、寒い中でしたが約200人が参加、盛況のイベントとなりました。

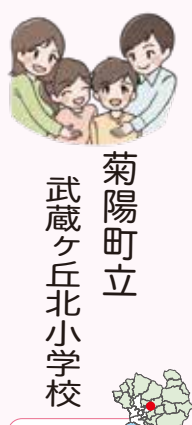
1日目は、地域サポーターご指導のもと、杵と臼を使って餅つきを行いました。初体

験の子どもも多く、自分達でついたお餅を丸めて、あんなことやきなこと様々なトッピングでおいしそうに食べていました。

2日目は、学校運営協議会ご指導のもと、門松づくりを行いました。子ども達が心をこめて竹を丁寧にヒカヒカに磨いてくれて、出来上がった門松は、無事に地域の方から

合格を頂くことができました。また、PTA役員保護者が講師となり、しめ縄づくりを初めて実施しました。子ども達は思い思いの飾りを選び、個性豊かなしめ縄が続きと完成しました。日頃からお世話になっている地域の皆様へ感謝のお手紙を添えてお届けすることもできました。

令和6年度 親子ふれあいデー活動 「武北っ子フェスタ」



菊陽町立 武蔵ヶ丘北小学校

菊池部エリア	児童数	474人
PTA会員数	池田 裕子	30人
原稿執筆	池田 裕子	

令和6年12月18日に中間報告会を開催し、延べ約70人の皆様にお集まりいただきました。

ワークショップとして、単Pごとに活動報告や今後の予定などをグループ別に発表し合っていました。PTA間の交流を深めること、また



他の単Pの取り組みを共有し、今後の活動の参考にしたいということが目的です。

「親子ふれあいデー活動」では集団宿泊やモルック、郷土文化の体験、「ふれあい読書研究会」では熊本県PTA協議会の「CP読書プラン」と合同で開催し、さまざまなジャン

中間報告と意見交換

「親子ふれあいデー活動」では集団宿泊やモルック、郷土文化の体験、「ふれあい読書研究会」では熊本県PTA協議会の「CP読書プラン」と合同で開催し、さまざまなジャン

ホームページにも掲載しておりますのでぜひご覧ください。

ルの本を読んでもらうためのピンク企画や脱出ゲームなど、たくさん魅力的な取り組みが報告されました。

各グループから笑い声が飛び交うほど楽しく情報交換をされ、とても有意義な報告会となりました。

参加PTAの活動内容はホームページにも掲載しておりますのでぜひご覧ください。



県Pホームページお知らせページ

親子ふれあいデー活動・ふれあい読書研究会

令和7年度 委嘱校募集

ご・あ・ん・な・い

親子ふれあいデー活動
PTAが主催となり家族で自然とふれあう時間、またPTA会員同士や地域の人々との交流を通じ人間関係を育みふれあうことなどを目的とした事業です。

委嘱校…18校程度
委嘱金…1校につき20,000円 支給
※毎年応募できます。

ふれあい読書研究会
PTAが主催となり家庭・学校・地域を巻き込み、気づき、学び、楽しく読書に親しみ、本とふれあうことなどを目的とした事業です。

委嘱校…20校程度
委嘱金…1校につき50,000円 支給
※過去3年間(令和4年度~令和6年度)に委嘱を受けていない単Pが応募可能です。

※2月下旬~3月上旬に各単Pへ1回目の募集案内を配布します。
※4月上旬に2回目の募集案内を配布。(予定)
※募集案内をよくご確認ください。応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送又はメールにてご応募下さい!!
※先着順ではありません!!応募多数の場合は、応募内容等にて選定致します。

たくさんのご応募お待ちしております!!

くらっ子のホッとひととき時間

倉岳小学校では、月に2回火曜日の朝に読み聞かせの時間があります。PTA会員や地域のボランティア団体「シモンちゃん」の皆さんが、季節や学年に合わせて吟味した絵本を読み聞かせてくださいます。手遊びや童謡を楽しんだり、絵本にてくる植物や食べ物、

昔の道具などの実物を紹介したりと五感を刺激しながら物語を楽しむ時間は、子ども達にとっても読み聞かせる大人にとっても互いに豊かなひとときです。

ですが、子どもの本離れや学習習慣の確立には課題があると感じており、今年度はふれあい読書研究会に応募しました。大型絵本やパネルシアターの購入、子ども達が楽しく利用できるような図書室にするための備品の購入に充当します。

天草市立倉岳小学校

天草市エリア
児童数 1870人
PTA会員数 18人
原稿執筆 村本 正史 法苑

実物投影機とモニターを活用したよみきかせ

朝のよみきかせ

手作りのパネルシアター

第72回日本PTA全国研究大会

日P川崎大会

8月23日、24日
川崎市とろろアリーナ

つながることの大切さ
「進化するPTA」を目指して!!

理事 功刀圭一

神奈川県川崎市にて、全国から約7000人のPTA会員や教職員等が参加し、第72回日本PTA全国研究大会川崎大会が開催されました。

今回の研究大会ではこれまでの分科会方式と異なり、参加者がひとつの会場で共に学び、探求し、語り合う形式のため同一会場での開催でした。

大会スローガンを「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から」活かそう「縁」の力と定めた大会は、初日開会行事の後、「特別第1」「特別第2」の講演がありました。

不登校児童の居場所づくりを全国で手掛けるトキヨーコーヒー代表の吉田タカシ様による講演では子ども達の学びの場の現状と未来の問題や課題について学ぶことが出来、「基調講演」では、川崎市内で1986年から不登校児童・生徒や高校

中退した若者の居場所づくりに関わるNPO法人フリースペースたまりは西野博之様から、急速な社会変化における家庭・学校・地域と社会の相関を知ることが出来ました。

2日目はセッション3部門からなるカリキュラムを通して「社会教育」「家庭教育」「学校教育・地域連携」をテーマに各学校の取り組みや事例を基に、子どもへの自己肯定感を高めることを高めることの大切さを学びました。

今回の研究大会に参加できたことは、私にとって貴重な経験であり、多くのPTAの仲間と意見交換をし、教育・家庭環境のさまざまな課題について考える機会を得ました。

今後も熊本県のPTA活動をより良く進めるために、得た知識や経験を活かしていきたいと強く思います。

第69回九州ブロック研究大会

九P長崎大会

10月26日、27日
長崎市 出島マッセ長崎

第4分科会 「教育環境」

提言校 水俣市立水俣第二中学校

「支えよう！子どもたちの夢と希望。見せよう！大人の背中」

平成23年度に中学校が再編され、水俣第二中学校として初めて提言発表をさせていただきました。

学校再編後から保護者間の親交を深めること、学校教育への関心を高めること、負担感を公平にすることなどを目的に、「一家庭、一役員」という体制を現在も継続できている発表に関心を持たれた参加者が多く、PTA活動の取り組みを評価していただいたことが励みになりました。

分科会後半は、PTA活動の取り組みや課題などについて、他県の方々と一緒にグループ討議をしました。PTA活動に参加しやすいように工夫している話もあり、自分の学

校で活かそうと真剣に話し合っていました。

これまでのPTA活動は「自主性のある活動」として取り組んできましたが、これからは「主体性を持った活動」に変化していくことで、誰もが参加したいPTAを目指していきたいと考えています。

今回の発表を通して得た多くの学びは、二中PTA会員と共有し、よりよい「チーム二中」になるように活かしていきたいと思えます。

提言者 田中裕二
PTA会長
提言補助者 長 畑口益喜

発表の様子

提言発表をした畑口益喜さんと田中裕二さん

水俣第二中学校のホームページ

第69回日本PTA九州ブロック研究大会が10月26日、27日の2日間、長崎市の出島マッセ長崎で開催され、九州各地から約4500人が参加しました。

初日、参加者は「組織・運営」「家庭教育」「人権教育」「教育環境」「広報・地域連携」の5分科会と特別分科会に分かれ、提言者の発表等をメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

今回は、発表を聞くだけでなくワークショップ形式で参加者が討論するなどの運営の工夫もあり、興味深かったです。

2日目は、全体会の前に歓迎アトラクションとして、長崎女子高校龍踊部(じゃおどり)の演舞があり、開会式に花を添えていただきました。

個人・団体表彰式後、記念講演として、作家でタレントの野々村友紀子さんが「強く生きるためのヒント」と題し、ご自身の実体験をもとに私達や家族が幸せに生きていけるヒントをお話いただきました。講演中は笑いがありながらも、とても為になるお話ばかりで、私も聞き入っていました。あつという間の1時間が終わり、参加者はそれぞれの思いを胸に帰路につきました。

今回、研修もそうですが皆さんと親しくなれて親学びの良い機会となった2日間でした。

親学びの良い機会となった

理事 竹下博徳

ASO

第2分科会会場 ■ 阿蘇中学校体育館

参加者感想

菊陽町立菊陽中部小学校 PTA 会長
山口 崇

感想 **陽転思考で新たなPTAに!!**

私が参加した第2分科会は、まず阿蘇市長から「新時代 / Ado」に思いを込めた挨拶?歌?で幕を開けました。

神楽男子の講話と演目披露により伝統継承の大切さや地域と学校教育のつながりの重要性を学ばせていただきました。

最後の和田裕美様の『新・陽転思考』については、会場全体が先生の講話に引き込まれるほどの一体感が生まれていくのを感じながらお話を聞いておりました。

特に心に残った言葉としては『ネガティブなことを否定するのではなく、受け入れることでその中から良いことを見出すことが陽転思考の本質』ということです。

昨今のPTAに対する多くのネガティブな意見に関してその中から良いことを見出せば新たなPTAとして活動につなげられると感じました。

会場報告

会場責任者
阿蘇市立波野小学校 PTA 会長
古林 達男

報告 **地域連携と自己改革**

阿蘇会場では、アトラクションとして「黒鷲太鼓」が披露され開幕しました。前半の講演では阿蘇市波野地区に伝わる「中江若戸神楽」、地域が育てた子どもが年を重ね次の世代の指導者となっていく成功例と言えるのが「神楽男子」の誕生でした。学校と地域がともに伝統芸能の継承に寄与するいい活動だと思いました。後半の講演は和田裕美先生により「新・陽転思考」の講演、良いことも悪いこともあるがまともに受け入れ思考の転換によって人生を楽しく過ごすという子育てをする親だけでなく現代社会に生きるすべての年代層にとってためになるお話でした。

本会場が成功しましたのも、阿蘇会場に携わった実行委員や関係者の方々のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

「地域連携」のお話



中江若戸神楽保存会のアトラクション



「新・陽転思考」のお話

親の学びが子どもたちの成長を支える

熊本県PTA連合会
会長 **山口 法子**

第50回熊本県PTA研究大会
阿蘇大会にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。本大会では、子育てに重点を置き、学校教育や家庭教育の質向上に繋がる学びの機会を提供しました。参加者の皆様が親としての学びを深め、他の保護者との交流を通じて新たな視点を得られたことは、大変有意義な成果でした。

家庭教育の重要性も改めて確認され、親の学びが学校教育と家庭教育のバランスを取る鍵であり、子どもたちの成長を支えるために不可欠であることが再認識されました。

この大会の成功は、実行委員会をはじめ、関係者の皆様のご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後もPTA活動を通じて、より良い教育環境を共に作り上げていけることを願っております。

家族の絆に思いを込めて

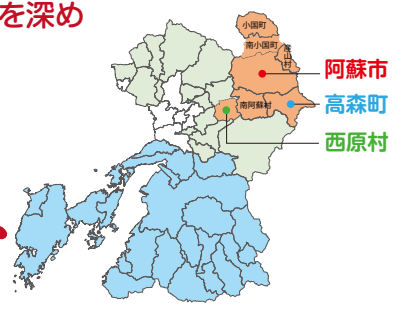
阿蘇大会
実行委員長 **佐伯 知彦**

第50回熊本県PTA研究大会
阿蘇大会にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。また、開催にご尽力賜りました、すべての皆さまのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

今回の講演内容については、ご家族がより良い絆で結ばれるように思いを共有して取り組みました。子ども達と心を通わせる歌声は、親子の時間の貴重さを再確認し、子ども達の活躍は、親子の会話に繋がるものだったと思います。地方から世界へと羽ばたいた偉人の活躍は、諦めない姿勢を応援し、高森町の取組は子ども達を取り巻く環境に、改めて興味を持つものと期待しました。この大会の成果が家庭を明るくし、子ども達の優しい笑顔につながるよう祈念します。

最後になりましたが実行委員長を務めるにあたり、ご理解とご配慮を頂いた県庁理事並びに事務局の皆さまに心よりお礼申し上げます。

11月9日(土)第50回熊本県PTA研究大会阿蘇大会(Aso Lab.)が西原会場、阿蘇会場、高森会場の3つの研究室(Lab)に分かれて開催され、総数1,420人の参加がありました。阿蘇という雄大な自然の中で、進化し続けるPTAにおいて、各Labごとに様々なテーマで新たな気づきや学びを深め参加者全員で家庭の在り方や教育への関わりなどを探求でき、とても充実した1日となりました。



アソラボ Aso Lab. 阿蘇大会

TAKAMORI

第3分科会会場 ■ 高森中学校体育館

参加者感想

南関町立南関第一小学校 PTA 会長
裨島 寛浩

感想 **これからの人材育成**

Lab.1では、(株)熊本コアミックスの持田修一氏による講演でマンガとアニメの違いや、日本や世界における市場価値と高森町による取り組みを知りました。その話の中で、「マンガを読む」ことで左脳と右脳の両方を刺激する、マンガをもっと読んだ方が良いという科学的分析も踏まえて、お話しされ目から鱗でした。

Lab.2では高森町の教育の成果を高森町教育委員会の石井佑介様が講演され、「ICT教育、教育DX、GIGAスクール」など、保護者の立場では聞かないような言葉を、わかりやすく説明いただき、実践の結果が子ども達にどう役立っているのかアンケートをもとにお話しいただきました。

これからの世の中にあつた人材を育てるために、教育の現場ではさまざまな取り組みがされているんだと感じました。

会場報告

会場責任者
高森町立高森中学校 PTA 会長
住吉 哲郎

報告 **ICT教育の推進と選ばれる学校づくり**

第3会場 Lab.1では、高森高校「マンガ学科」を将来の人材育成の拠点として形成されていて地域復興を目標とされている(株)熊本コアミックスの持田修一様からエンタメ業界と連携したまちづくりと題して講演していただきました。

Lab.2はICT教育をいち早く取り入れ、これまでの成果にみられるICT教育の子どもたちの実践事例や今後の方向性を挙げ、参加者にその場でスマホで質問に答えてもらい瞬時に集計出すと言った工夫を凝らした内容でした。

ご参加いただいた皆さま、実行委員や関係者をはじめご協力いただいた全ての方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

Studio SmileBoxのアトラクション



「エンタメ業界と連携したまちづくり」についてのお話



「ICT教育について」石井佑介様



NISHIHARA

第1分科会会場 ■ 西原村総合体育館

参加者感想

玉名市立築山小学校 PTA 会長
有田 康弘

感想 **～子ども達の笑顔のために～ ウェルビーイングくまもと**

にしはら夢運太鼓さんの夢運ぶ演奏に始まり、北里英郎様の講演では、北里柴三郎氏の生き方、志に対しての向き合い方など、今の子どもたちにも伝えていかなければいけないと強く感銘を受けました。多数の門下生の性格を識別し、その長所を発揮することに努めたという彼の座右の銘である「人を任じて疑うなかれ、疑いて人を任するなかれ」という言葉は、子どもたちを導き育てる私たちにも通じるものだと思います。

そがみまご様の歌を交えた講演会は、子どもたちにも聴きやすかったです。童謡は子どもたちのために作られた歌ではあるが、日本の四季折々の風景や風習、行事、家族愛、その心を歌詞とメロディで映し出されたものが多くあるとのことで、思わず一緒に口ずさんでしまうほどでした。

会場報告

会場責任者
西原村PTA連合会会長
黒田 康男

報告 **～伝統継承～ 世代をこえて受け継がれる未来**

第1分科会のLab.1では、郷土の偉人「北里柴三郎」の曾孫である北里英郎様より、「現在に生きる北里柴三郎の教え」と題した講演をいただきました。終始一貫の精神で予防医学と血清療法に功績を残し、近代医学の父と呼ばれた郷土の偉人を更に誇りに思い、子ども達にもその姿勢を伝えてゆかなければと強く感じました。

Lab.2では、過去に日Pや県Pで会長を歴任された父の背中を見てきたソロアーティストのそがみまご様に、童謡・唱歌を織り交ぜた講演をいただきました。心に寄り添いながら語ってくれる姿や美しい歌声に、参加者の皆様や親子席の子ども達が温かい雰囲気包まれた印象に残る大会となりました。

運営に携わっていただいた実行委員やスタッフの皆様、そして、ご参加いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

にしはら夢運太鼓のアトラクション



「記念講演」北里 英郎様



「繋げたい子どもたちのために」の歌とお話



単P活動紹介

やさしさ・やる気・夢がいっぱい みんなとつながる 田浦っ子 芦北町立 田浦小学校PTA

県南 葦北郡エリア 児童数 140人 教職員数 18人 校長 緒方尚哉 PTA会長 上野寛道 原稿執筆 酒井かおり

芦北町南部に位置し、自然豊かな環境に囲まれた田浦小学校は、明治7年に「公立田浦校」として創立され、今年で150周年を迎えました。

11月10日には記念行事が開催され、式典では地元出身のKABアナウンサー田中杜旺様が講演をされ、児童たちと発声練習や早口言葉を楽しみ、夢を追い続ける楽しさと大切さを伝えました。記念イベントでは、たのうらマルシェや地元企業協力によるお仕事体験、田浦シニア応援団による応援演奏、記念のもち投げなど地域が一体となった催しが行われ、参加者を楽しませました。

「やさしさ・やる気・夢がいっぱいみんなとつながる田浦っ子」を目標にする児童たちが、これからも夢を持ち、それを実現できるよう、PTAとしてしっかりと支えていきたいと考えています。



創立150周年記念行事 みんなで記念撮影！

単P活動紹介

築山小学校 創立150周年を迎えるにあたり 玉名市立 築山小学校 PTA

県北 玉名市エリア 児童数 696人 教職員数 50人 校長 北岡誉久 PTA会長 有田康弘 原稿執筆 有田康弘

明治6年公立山田校・公立築地校としてはじまった歴史は多くの方の思いをつなぎ、5つの時代を経て今年創立150周年を迎えることとなりました。

12月の記念式典では司会のお手伝いをおこない、横断幕のぼり旗といった地域の方の目に留まるもののデザインもおこないました。創立200周年を迎える時に、この子どもたちが携わる事との思いで、今回の周年事業を託しました。

様々な環境の変化が著しい時代で、教育の在り方も変化が問われる。このような状況にも、学校をはじめ、築山校区・行政・家庭が一体となって、スローガンである「元気・夢・思いやり」の心を育み、教育目標の「しなやかで、凜とした子どもの育成」のもとに、笑顔あふれる築山小であり続けてまいります。



人文字の航空写真

こちらのQRコードからスマホで曲を聴くことができます



4年生が作詞した記念ソング

教養委員会

会員の研修に関する事業

●熊本県PTA研究大会 ●単位PTAリーダー等研修会

教養委員会では、大きな事業として研究大会と単位PTAリーダー等研修会があります。研究大会においては11月9日に記念すべき第50回目にあたる熊本県PTA研究大会阿蘇大会を開催致しました。今年「Aso Lab. 阿蘇の大自然を学びの研究所に、未来を育む子育てを共に探求しよう」をスローガンに掲げ、学校教育や家庭教育の質の向上につながる研究大会を目指しました。運営委員会として阿蘇実行委員会の方々様々な意見を交換、尊重しPTA会員の皆様より学びの場を提供する事が出来ました。これも日々、PTA会員の皆様のご理解とご協力のおかげです。参加頂きました皆様には心より感謝申し上げます。また、2月22日に西原村総合体育館にて単位PTAリーダー等研修会を開催。これからの単位PTAリーダーとしての参考となる講演、親の学びプログラムを実施致しました。

この研修会を通じ、PTAリーダーとして各単位PTAの発展に取り組んで頂ければと思います。今後もPTA会員の皆様より学びの場、つながりのあるPTAを目指し教養委員会一同より一層励んでまいります。



広報委員会では、年2回の新聞発行を行っております。委員会メンバー5人で毎月委員会を開催し、会員の皆様に読んでいただく内容を検討しています。

会員の皆さまが読みやすい紙面を考え、熊本県PTA連合会主催の事業や各エリア、各単位PTAの情報を掲載しています。また、昨年から検討していたホームページの活用も開始しました。ホームページは、写真を活用し、多くの会員の方々にいつでも観ていただきたいの思いで掲載しました。広報紙やホームページで活動内容をわかりやすく丁寧にお届け、今後も必ず必要とされる県P連を目指していきます。会員の皆さまには、今回発行にあたり、多くの寄稿をいただきましたことに、この場を借りて感謝申し上げます。

広報委員会

広報に関する事業

●県P新聞の企画・発行 ●県P連ホームページ運営

総務委員会

運営に関する事業

●会計 ●規約の見直し ●ICT教育検討専門部会

総務委員会では、熊本県PTA連合会が会員皆さまの会費に支えられている組織であることを自覚し、透明性の高い運営の徹底と、事務改善や組織改革に取り組んでいます。併せて本年度は、総務委員が中心となって行っているICT教育専門部会において、全会員向けに「ICTを活用した教育アンケート」を実施し、保護者や学校現場の声を直接県や国に伝達することで、ICT教育の課題解決や、発展につながる活動を行いました。さらに、PTAのあり方について研究・検討を重ね、多様化する社会のニーズに対応した組織体制や、活動方針を模索しています。

これらの活動を通じて、今後も熊本県PTA連合会が、より一層会員に寄り添い、そして会員皆さまの組織として、熊本県の教育環境向上に寄与できるよう委員一同努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



家庭教育委員会では、6月26日に「ふれあい読書研究会」『親子ふれあいデー活動』の委嘱式、12月18日に中間報告会を行いました。子ども達を真ん中にした、学校、地域、家庭が連携しての様々なご報告がありました。親子の笑顔が見えるような楽しい活動ばかりで、私たちも嬉しい気持ちになりました。

10月2日に家庭部会と協働で開催した「家庭部会研修会」では、参加者同士で交流を深めました。11月9日に開催された第50回熊本県PTA研究大会阿蘇大会では、阿蘇会場を担当させていただきました。楽しみながら学びと交流を深めていただけるように、との思いで取り入れられた様々な工夫は、今後の県P大会にも活かしていきたいと思っております。私たちの活動が、会員の皆様の子育て、親育ちに少しでもお役に立てたら嬉しいです。子ども達の笑顔と思い、親自身も楽しみながら今後の委員会活動に取り組んでまいります。ご協力をいただきました皆様心より感謝申し上げます。

家庭教育委員会

家庭教育の充実強化に関する事業

●親子ふれあいデー活動 ●ふれあい読書研究会



理事 田中真鶴

10月2日に熊本県総合福祉センター研修ホールにて家庭部会研修会が開催され、多くの方に参加頂き、学びを深めることができました。ご参加ありがとうございました。研修の内容は、まず、すみれ助産院長赤木夏代様より「思春期の子どもへの理解と接し方」を標題にご講義いただきました。赤木様は助産院の他、3校の大学で学生の指導にあたられています。また子育ての先輩でもあられますので先生のお話は世代的にも心に響く内容でした。思春期は自我の形成の時期で身体をはじめ、知能、欲求、情動、さまざまな発達時期であり、気持ちやココロが変わる時期ですが静かに見守り、パウンタリー(個人の境界を侵害する事なく、個人の権利を奪わず、共感的理解を持つ子どもに接する事が大切である事を学びました。これまで子どもが大切に右往左往し気を探むこともありましたが、少し余裕を持つことができるようになった気がします。その他にも子育てのヒントが盛りだくさんの素晴らしいお話でした。次に熊本県教育委員会社会教育課 工木圭吾部長より「未来を担う子供たちのために」の標題の元で講義いただきました。3、4人のグループになりグルーブワークを中心に進みました。県内の他の地域の単位PTAの方と情報交換が出来たようです。トークが楽しく時間が足りない班もあった程度、和やかに進める事が出来ました。最後に、工木様より「一生のうち、親子が一緒に過ごす時間はどれくらいでしょうか?」と質問があり、なんと父親3年4ヶ月、母親7年6ヶ月、だそうでした。とても限られた時間です。私達PTA会員も良い関係が繋がり、協力して活動を進めて行き、未来を担う子ども達の為に出来ることを一緒に取り組めたらと感じました。

熊本県PTA連合会 2025年度版 PTA任意保険 小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険] たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

PTA共済 共済金給付の例 熊本県PTA共済金 給付の例

PTA共済 共済金給付の例 熊本県PTA共済金 給付の例